



福島西ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

2026-27年度

会長：寺島英樹

幹事：穴戸順一

例会場：エフズサンパレス

第3回例会 会員スピーチ

- 開会点鐘
- ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 朝倉久仁男会員
- お客様 並びに ビジター紹介
福島RC会長 横山 淳 様
福島RC幹事 藤井 守 様
- 福島RC横山淳会長よりご挨拶
- 会長挨拶 寺島英樹会長
- お食事
- 幹事報告
- 委員会報告
プログラム・出席・スマイリングボックス小委員会報告
高橋智弘会員
- 本日のプログラム
クラブ行動計画推進リーダースピーチ
佐藤宗弘会員
福島西ロータリークラブの歴史
西形健吉会員
- 閉会点鐘



開会点鐘
寺島英樹会長



ソングリーダー
朝倉久仁男会員



お客様
福島RC会長
横山淳様

● 会長挨拶 寺島英樹会長



本日は、予定していた米山記念奨学生スピーチが本人の体調不良のため欠席となり、急遽西形会員のお話を伺う機会となりました。

当クラブは40年以上続く歴史あるクラブであり、皆さまの支えによって活動が続いています。チャーターメンバーである西形会員の貴重なお話を楽しみに拝聴したいと思います。

さて、最近、久米会員・高橋会員が治療のため例会をお休みされていますが、久米会員は回復に向かっており、1か月ほどで復帰できる見込みとのことです。達也先生も自宅療養中で、夏を過ぎればまた例会に戻ってこられる予定です。私自身も来月から治療のため入院し、3回ほど例会を欠席いたします。副会長にはプログラム面でご負担をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。連日の猛暑は社会的・医学的にも悪影響があり、特に高齢者は認知機能へのダメージが懸念されています。暑いからと家に閉じこもると、会話の機会が減り、さらに状態が悪化する可能性があります。ロータリー活動は暑さ寒さに関わらず続きますが、どうか皆さま体調に十分ご注意ください。

【幹事報告】

・次週8月2日(日)社会奉仕・国際奉仕、R-列-財団委員会合同セミナーが開催されます。

当クラブより黒澤信之会員・高橋智弘会員が出席されます。

・会員の皆様に上期分会費納入のご案内をさせていただいておりますので宜しくお願い申し上げます。

私が年度当初から申し上げている「一人でやらない、一人にやらない」という言葉の通り、当クラブは役割の引き継ぎや助け合いがとても上手で、安心して任せられるクラブだと感じています。委員長・副委員長をはじめ、皆さまも例会の場で互いに支え合っていただければ幸いです。

この後は、佐藤会員のクラブ活性化のお話、そして西形会員の卓話を予定しております。本日もどうぞ宜しくお願いいたします。

クラブ行動計画推進リーダー 佐藤宗弘会員



ロータリーの最重要課題は会員増強であり、そのためには、クラブ活性化が必要です。伸び続けていた世界のロータリー会員数は、2000年前後をピークに減少に転じています。

規定審議会において、2016年には「柔軟性」をキーワードに例会と出席、会員身分に柔軟性を認め、2019年には「さらなる柔軟性と革新性」を標榜し職業分類の制限廃止が決まりました。従来のロータリーを尊重しつつ、時代に即した組織として発展・進化を目指す決定でした。

のロータリーを尊重しつつ、時代に即した組織として発展・進化を目指す決定でした。

■このような背景から生まれたのが「Action Plan（行動計画）」です。

RIは明確なビジョンを定めて（ビジョン声明）、それに向けての4つの優先事項を設けました。RIが定めた単年度の具体的目標に対して、各クラブに数値で目標を設定するように求めた点（数値化）に革新性がみられます。自クラブの目標を明確にすることにより、モチベーションの向上と評価の客観化を可能としました。

■「3-year rolling goals」

Action Planの考え方の基、継続性、単純化、柔軟性が加味されました。

継続性：目標設定を単年度から3年先までに

単純化：重点目標項目を6項目へ（従来の13項目も併存）

柔軟性：毎年（定期的に）目標を見直し更新する

「3-year rolling goals」は、クラブの未来（3年先）を考える仕組みです。

※3年計画の継続性を担保するためにも、会長、会長エレクト、会長ノミニーに就任する前に計画を仕上げておかねばなりません。

①会長ノミニーに就任したら、ロータリー全般について研究学習する。（学びの期間）

②会長エレクトに就任したら、会長年度の人事（理事および役員を含め）と行動計画をはじめクラブ活動計画を立案する。（準備の期間）

③会長に就任したら、各種計画に従ってアクションを起こし、クラブ会員を鼓舞する。（実践の期間）

■「クラブサポートミーティング」

クラブは定期的に目標項目の数値を入力して、その時点での目標達成度を可視化し、クラブの抱える悩みや問題点をクラブ間で共有します。さらに、ガバナーからクラブの悩みや問題点に対するアドバイスやサポートを得る制度です。

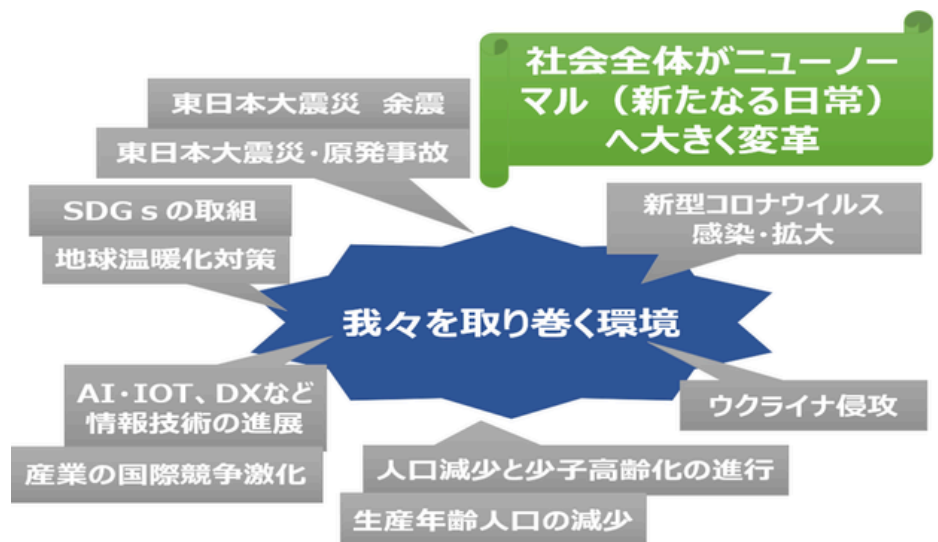
「クラブサポートミーティング」はクラブの現状を見つめる制度です。

強み

- ・派閥等もなく、自由な気風
- ・例会運営、内容が時間通り
- ・出席率、寄付など地区内でも上位
- ・規律ある例会運営
- ・会員同士の親睦が深い
- ・長きに亘る少年野球大会の開催

弱み

- ・強いロータリーのリーダーがいない
- ・会員の高齢化と減少
- ・新会員の育成が課題
- ・女性会員の割合が少ない
- ・会員が少ないので資金力不足
- ・地域へのロータリークラブPR不足
- ・地区大会への参加率が低い



上記を踏まえた目標設定

- ・例会の充実→出席率向上
- ・地区行事への参加奨励（特に入会3年未満の会員）
- ・クラブビジョンを策定するための議論の推進
- ・クラブ細則の見直し（クラブ運営の円滑化、透明性、会員増強・退会防止）
- ・新会員と古参会員がコミュニケーションを取りやすい環境づくり
- ・新会員を対象とした研修会の開催
- ・クラブの歴史を知り、充実したロータリー活動を楽しむ
- ・会員候補者をクラブ事業活動や例会・懇親会に招待

会員スピーチ

「福島西ロータリークラブ創立のころ」西形健吉会員



皆さま、本日はお時間をいただきありがとうございます。

チャーターメンバーとして、福島西ロータリークラブ創立当時のことを少しお話ししたいと思います。本日はもう一人のチャーターメンバーである佐久間正文さんが欠席とのことで、急遽私に順番が回ってまいりました。今朝、当時の資料を改めて確認してきましたので、その内容をもとにお話しします。

■クラブ創立当時の「地域（テリトリー）」制度

今では考えられませんが、当時のロータリーにはクラブごとに明確な「地域（テリトリー）」が定められていました。福島市内は既存クラブで埋まっており、空白地帯がなかったため、西クラブ創立にあたり、福島クラブ・福島北クラブから一部地域を分けていただく必要がありました。資料には「東北本線荒川北岸より北上して...」といった複雑な記述があり、明治計画書の裏には線引きされた地図が残っています。現在は地域制が廃止され、どこからでも入会できるようになっていますが、当時は厳格なルールがあったということです。

■スポンサークラブと特別代表

クラブ創立には、スポンサークラブを中心に「特別代表」を選任する決まりがありました。福島西クラブの特別代表は次のお二人です。

梶浦睦雄氏（福島RC）梶浦眼科院長・福島医大名誉教授。当クラブの初代会長を務められました。

円谷亮平氏（福島北RC）肥料問屋（株）フクベイ社長。ロータリーへの情熱が非常に強く、話し出すと止まらない方でした。このお二人を中心に委員会が組織され、クラブ創立の準備が進められました。

当時の福島クラブ会長は東北沖電気の佐藤盛男氏、幹事は現在も活躍されている阿久津パストガバナーでした。40年以上前のことですので、当時は働き盛りの年代だったと思われます。

■チャーターメンバーは「21名」でスタート

福島西クラブは21名のチャーターメンバーでスタートしました。

一部資料には「22名」と記載がありますが、創立3日前に1名が急遽辞退し、正式には21名が正しい数字です。



スマイルボックス

高橋智弘 会員

●福島RC 横山淳会長

本日福島ロータリークラブより初めて参加させていただきます。宜しくお願い致します。

●福島RC 藤井守幹事

寺島会長と穴戸幹事の大成功を願って！

●寺島英樹会長

本日は福島RC横山会長、藤井幹事ようこそいらっしゃいました。宜しくお願い致します。

●穴戸順一幹事

横山会長・藤井幹事、今日はよろしくおねがいします。

●大内重人会員

本日は福島RCから来賓をお迎えしております。宜しくお願いいたします。

●宮崎秀剛会員

福島RC横山会長、藤井幹事、ようこそ我がクラブへお越し下さいました。本日の西形会員、佐藤宗弘会員のスピーチ、楽しみにしております。

●西形健吉会員

寺島会長から急遽スピーチを依頼されました。昔の話をしてくれ、との事でしたので、お付き合い下さい。

●佐藤宗弘会員

福島RC横山会長、藤井幹事の来訪を歓迎して

■初代会長決定の裏側

初代会長は梶浦先生ですが、この決定には少々複雑な背景がありました。

阿久津先生は「混乱があった」と表現されますが、実際には様々な意見や思いが交錯し、調整に時間を要したようです。そのため、「誰も異論を唱えない大御所を担ぎ出そう」ということで、急遽梶浦先生にお願いする形でまとまりました。大晦日（12月31日）に決定したという話も残っています。

■その後のクラブの歩み

創立から43年が経ちました。一時は60名を超える規模になりましたが、その後減少し、現在はチャーターメンバーと同じ規模に戻っています。まさに「第2のスタート」と言える時期かもしれません。10周年記念アルバムを確認したところ、当時在籍していた会員で現在も残っているのは6名。そのうちチャーターメンバーは私と佐久間さんの2名です。本日、そのうち4名が出席されています。ロータリーには長い歴史を持つクラブが多くありますが、40年という年月は十分に重みのある歴史だと思います。これから再び勢いを取り戻し、新しいクラブとして発展していければと願っています。

急な登板で拙い点もあったかと思いますが、以上で私のスピーチとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

朝倉久仁男会員／大平謹一郎会員／佐藤慶行会員
高橋智弘会員／高梨哲男会員／松林克会員／
行形裕司会員／野尻榮一会員